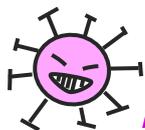


感染症に気をつけよう!!

2024年1月号

横浜市衛生研究所
感染症情報センター 12月27日発行



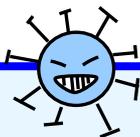
横浜市内の感染症流行状況



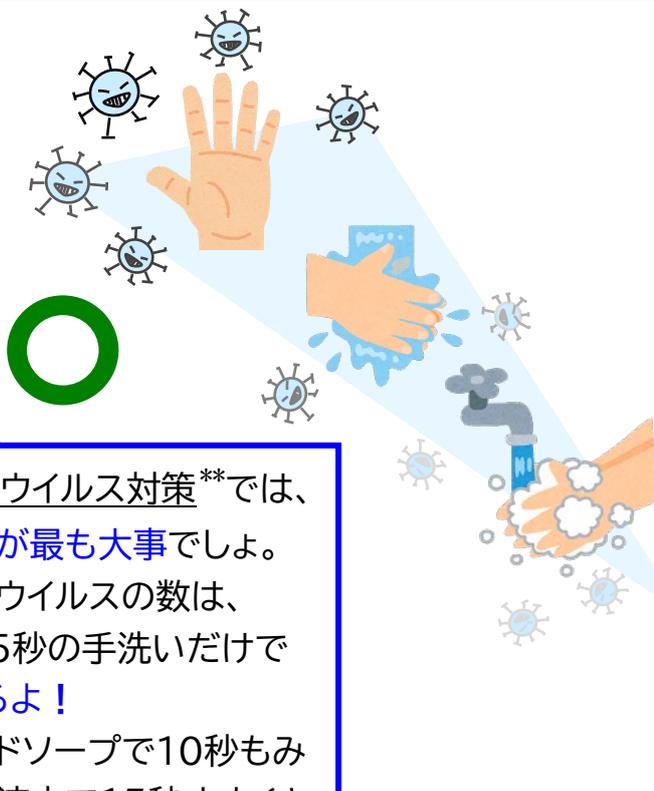
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
感染性胃腸炎**	発生	増加	11月下旬以降、増加傾向が目立っています。集団感染の報告も増えています。【 ちらし 】
咽頭結膜熱*	警報	横ばい	例年夏にピークがありますが、7月下旬からの増加傾向の後、まだ警報レベルです。【 ちらし 】
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	発生	横ばい	10月下旬以降、増加し、過去5年間の同じ時期に比べて多くなっています。【 '18.4号 】
インフルエンザ**	注意報	増加	例年の同時期より多く、第50週(12/11~17)では10歳未満が約4割です。【 臨時情報 】

* 国立感染症研究所 ** 厚生労働省

今、復習しておきたい

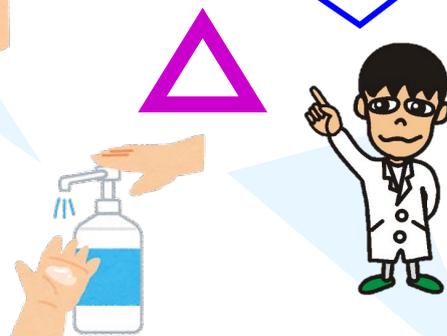


手指のウイルス対策



アルコール消毒が効きにくいウイルスもあるよ。
アルコールはウイルスの「膜」を壊すことで無毒化する。だから、この「膜」がないウイルス※には、アルコール消毒は効きにくいんだ。

手や指などのウイルス対策**では、**洗い流す**ことが最も大事でしょ。付着しているウイルスの数は、流水による15秒の手洗いで**1/100**に減るよ！
石けんやハンドソープで10秒もみ洗った後に流水で15秒すすぐと**1/10,000**にまで減らせる！



※ 感染性胃腸炎を起こすノロウイルス
咽頭結膜熱を起こすアデノウイルスなど